

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(山陽小野田市地域公共交通計画策定等に係る事業)

令和 年 月 日

協議会名:山陽小野田市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通調査事業

| ①事業の結果概要 | ②事業実施の適切性 | ③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針 |
|---|---------------------------|--|
| <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通網形成計画(前計画)の評価 ・現況把握 ・問題点・課題の整理 ・地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・地域公共交通会議の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・地域へのアンケートにより、住民の場所別・目的別の移動需要や交通モードごとの利用頻度、利用増加の見込み等について把握した。 ・地域に適した交通モード、路線見直しの方向性、利便性向上や担い手確保等、公共交通の維持に係る施策について検討した。 ・今後、計画素案を策定し、協議会の検討やパブリックコメント等を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 | <p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p> | <p>山陽小野田市地域公共交通計画の方向性(案)</p> <p>1 公共交通の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)まちづくりや沿線自治体、事業者間で連携した幹線サービスの維持とより一層の利用促進 (2)変わりゆく地域の実情に合った支線サービスへの再編 (3)公共交通の持続性の確保 (4)利用者目線による使いやすさ向上とデジタル化の推進 (5)沿線関係者および交通事業者との連携 <p>2 課題解決に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)都市間を結ぶ幹線の維持 (2)地域の実情に合わせた支線の再編 (3)交通結節点の機能強化、乗継改善 (4)新技術の試験導入・実装 (5)関係者との連携による利用促進・サービス維持 (6)公共交通に触れる機会の増加 |
| | | |



令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 山陽小野田市地域公共交通会議（計画策定事業）の概要

山陽小野田市の概要

- 平成17年3月に1市1町が合併
- 人口 60,326人（令和2年国勢調査）
- 面積 133.09km²

山陽小野田市地域公共交通会議の構成員

山陽小野田市 船木鉄道（株） サンデン交通（株） 宇部市交通局
西日本旅客鉄道（株） 山陽小野田タクシー協会 山口運輸支局
宇部国道維持出張所 宇部土木建築事務所 山陽小野田警察署 市民
学識経験者

地域公共交通の現況

別紙のとおり。

地域公共交通の現状

- ・ 鉄道：JR山陽本線、美祢線、小野田線
- ・ 4条バス路線：船木鉄道(株)、サンデン交通(株)、宇部市交通局 50系統
- ・ 乗合タクシー：5事業者 ・ 介護タクシー：5事業者
- ・ スクールバス 1校
- ・ 高齢化率 34.2%

具体的な課題・問題点

- ・ まちづくりや沿線自治体、事業者間で連携した幹線サービスの維持とより一層の利用促進
- ・ 変わりゆく地域の実情に合った支線サービスへの再編
- ・ 公共交通の持続性の確保
- ・ 利用者目線による使いやすさ向上とデジタル化の推進
- ・ 沿線関係者および交通事業者との連携

調査事業の実施

調査事業の概要

- ・ 公共交通網形成計画（前計画）の評価
- ・ 現況把握
- ・ 問題点・課題の整理
- ・ 地域公共交通計画（案）のとりまとめ
- ・ 地域公共交通会議の開催

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- ・第1回（5月30日）
調査の進め方の確認
 - ・第2回（8月30日）
現況把握、課題の共有
 - ・第3回（12月16日）
具体的な取組内容について

地域住民の意見の反映

- ・本年度8月に2,000世帯（1世帯につき調査票2枚配布）を対象にアンケート調査を実施し、1,214部の回答を集計（回収率30.4%）。

事業実施の適切性

- ・地域公共交通計画策定に必要な調査ができた。

調査事業の結果の概要

- ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。
- ・地域へのアンケートにより、住民の場所別・目的別の移動需要や交通モードごとの利用頻度、利用増加の見込み等について把握した。
- ・地域に適した交通モード、路線見直しの方向性、利便性向上や担い手確保等、公共交通の維持に係る施策について検討し、協議会に諮るための計画素案を作成。
- ・今後、協議会の検討やパブリックコメント等を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。



地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

山陽小野田市地域公共交通計画の方向性（案）

1 公共交通の課題

- (1) まちづくりや沿線自治体、事業者間で連携した幹線サービスの維持とより一層の利用促進
- (2) 変わりゆく地域の実情に合った支線サービスへの再編
- (3) 公共交通の持続性の確保
- (4) 利用者目線による使いやすさ向上とデジタル化の推進
- (5) 沿線関係者および交通事業者との連携

2 課題解決に向けた取組

- (1) 都市間を結ぶ幹線の維持
- (2) 地域の実情に合わせた支線の再編
- (3) 交通結節点の機能強化、乗継改善
- (4) 新技術の試験導入・実装
- (5) 関係者との連携による利用促進・サービス維持
- (6) 公共交通に触れる機会の増加

